

## 令和4年1月記者会見

令和4年1月17日(月)午前11時～

### ○ 令和4年第1回砺波市議会臨時会に提出する補正予算関係議案等について

【資料 1～2 頁】

《一般会計 補正予算》

追加補正額 1億 210万4千円  
総予算額 245億8,101万2千円

《工業団地造成事業特別会計 補正予算》

追加補正額 4億8,700万円  
総予算額 8億4,110万円

(仮称)高岡砺波スマートインター柳瀬工業団地(第1団地)の用地取得

(仮称)高岡砺波スマートインター柳瀬工業団地 第1団地の造成に必要な用地の取得について、関係者や関係機関のご理解のもと、農振除外や農地転用及び開発行為の県知事許可等が下りたことから、地権者から市へ財産を譲り受けるため、法令の定めるところにより、議会の議決をお願いする。

また、あわせてコロナ後の企業ニーズに対応するため、速やかに工業団地を造成することが重要であると考えていることから、工事費を予算計上する。

取得する財産は土地で、所在地は砺波市下中条…18筆、面積は39,965㎡、

取得価額は2億8,032万880円で契約の相手方である地権者は8名。

<工業団地の概要>開発面積：4.0ha

分譲面積：4.0ha

区画数：1区画

造成工事費：約6億円 ※造成工事は年度内に発注、令和5年度中に完成予定。

<工業団地の特徴・セールスポイント>

1 「スマートインターに隣接」

- ・車長制限(車長12mを超える車両の通行を制限)が撤廃され、全車種で利用可能
- ・隣接するICパーク高岡との相乗効果が期待できる。

2 敷地全体を嵩上げした「浸水リスクに備えた工業団地」

- ・浸水想定区域に位置していることから、造成は浸水が想定されない高さまで盛土を行う。(平均約2.0m)

3 盛土の一部に他工事発生土を活用し「コスト縮減」

- ・NEXCO中日本と協議し、造成用の盛土の一部に東海北陸道4車線化トンネル工事の発生土を使用させていただく。
- ・NEXCO中日本においては、建設発生土を他工事で再利用することにより資源の有効活用が図られるとともに、コスト縮減が図られ、そこで操業された企業の高速度道路利用にも繋がる。
- ・本市においては、造成用の盛土材の購入には多額の費用がかかるが、建設発生土を活用することにより、コスト縮減と企業へ質の高い用地を安価に提供できる。

### ○ 新型コロナワクチン3回目接種について

3回目追加接種については、集団接種は2月5日(土)からとされていたが、国や県の方針に沿って感染拡大防止のため、砺波まなび交流館での集団接種を1月29日(土)に前倒して実施する。

(15:00～2時間程度、接種人数は約100人程度を予定し、ワクチンはファイザー社製)

このほかの接種については、個別接種は2月1日(火)から、集団接種サテライト会場(ものがたり診療所：太田)は、当初の予定どおり2月6日(日)から実施する。

また、県においても2月から西部会場としてホテルニューオータニ高岡で特設会場が設置されるほか、4月には砺波地域にも特設会場が設置される予定となっており、感染拡大防止のため速やかな追加接種に期待をしているところである。